

横山幸次

区政報告
ニュース

308

2008年6月 1日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-
catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504

日本共産党区議団
ホームページアドレス
<http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpara/>

区が公園など遊具の緊急安全点検 7月までに32遊具を撤去の予定



使用禁止の町屋8南児童遊園すべり台

過去で公園などの遊具の破損事故が多発しています。今回の緊急安全点検は、専門業者によって全ての遊具の劣化状況を調べたものです。その結果は、最悪状態の遊具二つ（D3ランク）を直ちに撤去、D2ランクも七月までには全て撤去の予定です（下表参照・全て使用できない状態に対応済）。町屋地域では、町屋八丁目南児童遊園のすべり台、町屋五丁目児童遊園・通称タイヤ公園のジャングルジム、木製遊具（撤去

過去の安全管理と定期検査は？ 安全第一のシステム確立は緊急

全国で公園などの遊具の破損（済み）などが対象です。すでにテープがまかれたり、柵で囲まれているのをご覧の方も多いと思います。数少ない子ども遊び場です。早急に安全な遊具に取り替えるとともに、今後の安全管理と点検のシステム作りが必要になっていきます。

区内の公園、児童遊園遊具診断結果

1	Aランク	50遊具(11%)	現状異常なし
2	Bランク	67遊具(15%)	現状修理の必要なし
3	Cランク	261遊具(60%)	計画的修繕必要
4	D1ランク	27遊具(6%)	重要部分劣化、修繕で使用可能
5	D2ランク	30遊具(7%)	重要部分劣化、建替等に対処
6	D3ランク	2遊具(1%)	直ちに使用中止、撤去



撤去のため柵で覆われた町屋5児童遊園の遊具

横山幸次区議がホームページを開設 ご意見、ご要望などお寄せ下さい



日本共産党 荒川区議 横山幸次

ホームページのアドレスは、...

<http://www.yokoyama-kugi.com/>

区政・区議会やまちの話題などとともに、横山区議ニュースをPDFで掲載しています。最新の情報などお伝えできるよう努力してまいります。ご意見、ご要望などお寄せ下さい。

裏面 区政、区議会情報など

定例法律相談

6月2日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

【定例生活相談会】
毎週水曜日 午後2時から5時
会場は、横山区議事務所です。

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。
TEL&FAX 3895-0504

まちの話題あれこれ

都が悪徳商法七社に三ヶ月間の業務停止命令 高齢者を狙う卑劣な手口にきびしい監視の目を

最近地域で「ショップロイヤル」の店があるという話を聞きました。しめる「悪者」はいるのです。う回りを目隠しして何をしているかわからないようになってきているようにも悪徳商法から高齢者などを守るです。ところが、最近の日経新聞で「卵一〇〇円のチラシで行ってみると 高額健康商品売り付け 都、七社に業務停止命令」との記事を見ました。その中の「(株)アールエフ」の店が「ショップロイヤル」ということもわかりました。その店もさすがに営業を停止しているようですが、身近にあつてビックリです。さっそく区の担当課に問い合せてみると、最近「高齢者の不安を煽る催眠商法的な悪徳商法が増加している」とのこと。いつ



区や都の啓発パンフなど

まちづくりを考える…10



区立施設の中で耐震化されてない代表格が、区役所本庁舎。現在、耐震改修に向けて準備中です。町屋地域では、原保育園（都営住宅）なども一刻も早い耐震化が求められます。

再度・地震災害からみたまちづくり…

進まない木造密集市街地の耐震化事業 区が「荒川区耐震補強促進計画」を策定

中国四川省の大地震による被害状況が毎日のように報道され、心を痛める日が続いています。決して他人事ではありません。同時に、私たちの住む町を考えると、一刻も早い「耐震化」が求められています。

耐震改修促進法によって都道府県に「計画」の策定が義務付けられています。荒川区もこの度「荒川区耐震改修促進計画」を発表しました。それによると荒川区の耐震化は、住宅が七割台など一見進んでいるように見えます。しかし、進んでいるのはマンション建設などで戸数が増えたことによる耐震化の割合が増えているだけです。一方耐

震性を満たしていない住宅が二万三千九百戸あるようですが、おそらくその大半が木造住宅でしょう。しかも老朽化した家屋が多いはず。区は、二〇一五年までの八間で住宅の九〇％を耐震化するとしています。問題は、木造密集地域の対策と経済的弱者への支援の抜本的強化です（現在の支援策は左一覽表）。今後計画の実施にあたっては、公共的集人施設の耐震化を急ぐとともに、マンションが多い地域、低層木造密集地域などに分けた個別の対応も必要ではないでしょうか。

荒川区・耐震化の現状及び目標

	現状の耐震化	2015年
住宅	約73.0%	90%
民間特定建築物	約83.0%	90%
防災上重要な公共建築物	約89.9%	100%

民間特定建築物は、大型小売店、遊技場、病院、賃貸住宅、工場など民間集人施設

区の耐震支援事業一覽

構造	種類	事業名	補助率	限度額など
木造	戸建	簡易耐震診断		無料
		耐震診断・補強設計	2/3	30万円
		耐震補強工事	2/3	100万円
		耐震建替え工事		150万円
	賃貸アパート	耐震診断・補強設計	1/2	50万円
		耐震補強工事	1/2	150万円
		耐震建替え工事		150万円
非木造	戸建	耐震診断・補強設計	2/3	30万円
		耐震補強工事	2/3	100万円
		耐震建替え工事		150万円
	分譲マンション	耐震診断	1/2	100万円
		耐震診断・補強設計	2/3	200万円
		耐震補強工事	2/3	1,000万円
	賃貸マンション	耐震診断・補強設計	1/2	100万円
		耐震補強工事	1/2	500万円
		耐震建替え工事		500万円
	緊急輸送道路沿道建物	耐震診断・補強設計	2/3	200万円
		耐震補強工事	2/3	1,000万円
耐震建替え工事			1,000万円	

詳しくは住環境整備課 3802-3111内線2826・2827 まで

【おしらせコーナー】

全区立保育園で延長保育を実施中 しかし非常勤保育士さんの配置がまだ半分！

先日の文教・子育て支援委員会で4月からはじまった全区立保育園延長保育実施について質疑を行いました。父母からは、たいへん喜ばれていると言います。区のホームページには「非常勤保育士8名程度募集」の掲示が。聞いてみると、延長保育は、正規の保育士1人と有資格者（非常勤で）対応するのが方針。しかし2時から7時までの勤務と月収13万円台では、集まりません。14万円台に引き上げてはまだダメです。

必要な体制は、半分程度の園でしか組みません。代りにパートさんなどで対応。安全性や保育の質を確保する上で、非常勤保育士の勤務条件改善や正規職員での対応も検討すべき時ではないでしょうか。



法人立特養ホーム誘致と障害者施設が動き出しました…2～3年後開設めざす

誘致する法人立特別養護老人ホームは、100名定員を予定しています。現在区内5施設で定員348人、待機者は663人のようです。介護度4・5で在宅、介護療養型病床に入所が191人います。仮に計画通り誘致してもまだ足りません。区は、さらに検討すると言っています。当面のスケジュールは、募集要項策定、事業者の審査、決定 09年度、既存建物除却、設計など 2010、11年で建設工事、開設としています。今後さらに待機者が増えることが予測されます。政府は、介護療養型施設をなくす計画ですが、そんなことになれば、行き場を失った介護難民も生まれかねません。改めて介護保険制度の基盤整備で区はもちろん大本の国の責任が問われるところに来ているのではないのでしょうか。

また、町屋6丁目の障害者施設建設についても、今年度用地取得と事業者の決定をおこうとしています。今語句の取り組みについてお知らせしますのでご意見などぜひお寄せ下さい

